

ココロザシ応援プロジェクト第3期エントリー採択状況・取組内容(1/20時点)

29.2.10 ひろしま里山交流プロジェクト実行委員会事務局

No.	団体名称	代表者	企画名	内容	開催地域
		氏名			
1	広島23市町サミット実行委員会	正垣 紅	勝手に！広島23市町サミット	県内各市町の地域づくりに関わる人材が3か月に一度集う「勝手に！広島23市町サミット」を各市町持回りで開催する。サミットでは、ゲストを招いたトークセッション、ワールドカフェ形式のワークショップなどを開催していく。	広島市
2	広島湾岸トレイル協議会	田川 宏規	広島湾岸トレイル体験会	広島湾岸に面した山や集落等をつないだ全長280kmの「広島湾岸トレイル」の周知や関わる人々を確保していくため、「トレイルウォーク&山クリーンUP1000人大会」を開催する。将来的には、トレイルを活用したトレイルランニング国際大会等も視野に入れて活動中。	広島市
3	kanon	新舎 篤	「ART×village『山フェス2017in宇根山キャンプ場』」	三原市久井町の宇根山キャンプ場を会場として、音楽イベントとマルシェを開催するほか、キャンプ場宿泊者には、夜の天体観測イベントなど、地域資源を活かした取組みを実施する。	三原市
4	元気さぎしま協議会環境美化班	平木 豊彦	菜の花アイランドウォーキング	過去に開催していた「菜の花ウォーク」は、植付面積も小さく観光客に不評であったため、地域課題である耕作放棄地等の活用を図り、さぎしま一周菜の花ロードを整備し集客促進を図る。	三原市
5	矢野再発見プロジェクト	和知 啓子	矢野の魅力再発見プロジェクト	府中市矢野地区の魅力を発信するため、地域資源を活用したイベントを四季ごとに開催し、既存イベント(あやめ祭・かかし祭)との相乗効果により地域への集客促進を図る。	府中市
6	上下美人化計画	有光 梨紗	ハーブ王子と味わう冬の里山の野草たち	ハーブ王子として有名な山下智道氏を講師に迎え、地域に自生する野草を学ぶ里山散策・交流会等を開催する。地域の食品加工グループや飲食事業者の参画も募り、将来的な産品開発のきっかけづくりも図る。	府中市
7	NPO法人 地域活性化プロジェクトチーム GANBO	小川 治孝	耕作放棄地をそばで再生	地域課題である耕作放棄地と地域産品の開発に向けて、ソバ栽培への取組を開始するとともに、栽培の中で、都市住民と地域との交流事業等の実施を図る。	三次市
8	Peace Culture Village	近藤 亮一	古民家リノベーションワークショップ	古民家のリノベーション過程(約2か月)をワークショップとして実施し、地域外の参加者の長期滞在中も受け入れ、地域との交流会等を通じ地域での暮らしを学ぶ場所として整備を図る。	三次市
9	森をあそび尽くす大人旅実行委員会(仮)	寺河 未帆	森をあそび尽くす大人旅	独身20代～40代の男女の参加者を募り、森林の間伐体験やものづくり体験、「みわの里」での宿泊等を組み合わせた婚活イベントの開催を目指している。婚活を切り口に里山ファンの獲得も図る。	三次市
10	田んぼアートさとやま会 玉井有機農業塾	玉井 平一	田んぼアート体験ツアー「図柄はデザイン許諾の都合で3月に決定」	田んぼアートの技術伝承や県内各地への普及を目指し、田んぼアートの実施を目指す人々と共に未来博期間中の実施を目指していく。	三次市
11	庄原さくらフェスティバル実行委員会	久保 崇俊	縁結び事業(庄原さくらフェスティバル)	昨年から開催している「庄原さくらフェスティバル」のPRや、地域の魅力を知ってもらうため、会場である上野池等を活用した婚活イベントを開催していく。	庄原市
12	Sotoyama Beans	外山 達也	Vacant Reuse Project	空き家の家財等をリユースする仕組みづくりを目指し、ボランティア等の支援を得て、地域の空き家にある家財の販売・引き取りイベントを開催していく。	庄原市
13	「抱きしめて笑湖ハイズカ」	宮崎 文隆	「抱きしめて笑湖ハイズカ」	里山・里川の食を集めた「ランチミーティング」や音楽イベントを開催し、地域の魅力を発信し、地域ファンの獲得を目指していく。未来博では、新たな要素として里海との連携も図る。	庄原市

	団体名称	代表者	企画名	内容	開催地域
		氏名			
14	里山でグランピング	本平 正宏	グランピングにより里山観光の可能性を拡大する取組	里山の新しい観光ツールとして、「民泊」と「グランピング」を組み合わせの可能性を探るためのイベント開催を目指していく。食事は民家で宿泊はグランピングという新しいモデルを目指している。	庄原市
15	平成の貝合わせ実行委員会	上原 恭子	平成の貝合わせ 文化普及キャラバン	友禅和紙を張った庄原独自の貝合わせ(実用新案登録済)の普及と、観光客への新たな地域資源として提供していくことを目指し、提供する人材の育成講座や地域の趣のある日本旅館等での体験会を開催していく。インバウンド向けのツールとしても育成することを目指している。	庄原市
16	逆手塾(和水亭, 倶楽部里山木族)	和田 芳治	里山祭	地域の活性化に必要な地域産品等の販売「笑売」を活性化し、人と人の交流を活性化するためのイベントの開催を目指していく。未来博では、「里山暮らしの達人=里守」養成に向けて、エコストーブや燻製、里山料理等の学びの場を中心とした実施を目指している。	庄原市
17	後谷つつじの里づくり	難波 久佳	後谷つつじの里づくりと里山整備	東広島市の市花「つつじ」の咲く里山整備を行うイベント等を開催していく。未来博では、里山整備により生じる間伐材等の有効活用と活動資金確保等を目指し、きのこ栽培や薪活用の取組を目指している。	東広島市
18	乃美別府住民自治協議会	為平 邦彦	“毛利元就継室:乃美の大方ふるさと歴史ウォーク”	地域の歴史遺産「毛利元就継室、乃美の大方」を活かした地域の魅力を発信するため、歴史遺産の再整備(城跡・墓所等)や遺産をつなぐウォーキング大会等を開催していく。再整備に当たっては賀茂北高校等との連携も検討している。	東広島市
19	豊栄プロジェクト推進協議会	佐々木 智	豊栄プロジェクト	地域活性化活動拠点として整備した古民家(豊栄くらす)を活用した、地域住民が参画した都市との交流事業を実施していく。取組みに当たっては、地域住民と地域に立地する企業・団体等が連携したモデル的な取組を目指している。	東広島市
20	広島ソーラーシェアリング・フォーラム	重家 雅文	野菜と自然エネルギーとITのコラボ、未来型農業を広めるプロジェクト	農地上に設置した営農型太陽光発電パネル(売電)と有機野菜栽培による農業経営等の展示イベントと有機野菜マルシェ等を開催していく。県内2カ所(東広島市高屋と安芸高田市向原)の会場で連携して実施することを目指している。	東広島市
21	よしわすい仙まつり実行委員会	広兼 正義	よしわすい仙まつり	吉和地区の恒例イベントとして実施してきたすい仙まつりの魅力をPRするとともに、地域への集客を目指している。未来博では、吉和地区の魅力をより発信するため、地域住民等による地域周遊マップの作成等を目指している。	廿日市市
22	あきたかたモノ作り広場	増野 一幸	あきたかたモノ作り広場～農業と最新モノづくり体験合宿～	都市の子供たちを対象として、地域での農業体験とロボット作り体験合宿を開催していく。3Dプリンタを活用した農業ロボット試作(アイデア)など、新しい農村体験の提供を目指している。	安芸高田市
23	えんがわ創作プロジェクト	田村 真悠	えんがわ創作プロジェクト	地域のカフェ等を会場としたものづくりイベント(パン・装飾品・織物・絵画・伝統品等)を開催するほか、地元出身画家「わだかせつじ」の足跡や画法等、アートに関するワークショップを大学等と連携し複数回開催していく。ワークショップ会場として古民家整備も目指している。	安芸高田市
24	めぐみ多き宝の島応援交流隊	森山 直樹	竹水採取体験イベント	里山に繁茂する竹林の減竹を目的として、竹の伐採と古くから飲用されている「竹水」の採取を行うイベントを開催していく。伐採した竹を活かしたものづくりワークショップ等の開催も目指している。	江田島市
25	ぐるぐる海友舎プロジェクト	堀部 直暉	ぐるぐるカレープロジェクト	地域内外の参加者による、地域食材を発掘するワークショップや食材を集めるフィールドワークを実施し、集めた食材でカレーを作り食べるイベントを開催していく。江田島ならではの食材を活かしたご当地ぐるぐるカレーを創作し、県内で開催されるイベント等への参加も目指している。	江田島市

	団体名称	代表者	企画名	内容	開催地域
		氏名			
26	(仮称)江田島空き家プロジェクト	後藤 峻	空き家の物語プロジェクト	地域の空き家情報の収集を行うとともに、移住や空き店舗等を活用した創業希望者を対象としたツアーを開催していく。 地域の不動産事業者や建築家、司法書士等と連携したNPO法人等の設立も視野に入れて活動している。	江田島市
27	SOCKA	笠井 清孝	ノスタルジック in那須	地域資源を活かし、移住者の確保に向けた都市との交流事業を実施していく。 耕作放棄地を活用したソバ栽培、川遊び、きのこ採取など、地域ならではの魅力を体験するイベントの開催を目指している。	安芸太田町
28	NPO法人 いきいき農業応援し隊	代表理事 瀬川 徳子	農業ボラバイト事業（ボランティア+アルバイトの造語）	「農作業を手伝いたい消費者」と「手伝いが欲しい生産者」をマッチングさせ、相互理解の促進や、食に対する消費者の意識啓発を目指している。 未来博では、大学(生)や金融機関(職員)を巻き込むことを目指している。	北広島町
29	NPO法人 いきいき農業応援し隊	代表理事 瀬川 徳子	農村まるごと観光化事業	農業の現場を訪ね、生産者のこだわりを学び、実際の農作業を体験するとともに、そうした生産者を支援するために農産物を購入する支援ツアーを実施していく。	世羅町
30	神石高原ジビエ料理研究会	津川 香代子	猪肉を使った生ハム作り	有害鳥獣の活用に向けて、地元漁師等と連携し、イノシシ肉を活用した生ハムの試作と試食体験イベントを開催していく。 将来的な加工場の整備も目指している。	神石高原町
31	神石高原町観光協会	会長 兼定吉輝	神石高原町の名物料理「神石の麺」開発プロジェクト	廃棄処分される神石牛の牛骨スープと地域食材を使用した「麺料理」の開発を目指している。 食の観光商品作りを目的とした取組みで、「そば」、「うどん」、「ラーメン」、「パスタ」等、様々な麺料理を開発し、未来博期間中の提供とスタンプラリー等の開催を目指している。	神石高原町